



平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 25 年 2 月 8 日

上場会社名 新田ゼラチン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4977 URL <http://www.nitta-gelatin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 憲道
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員総務部長 (氏名) 佐々木 恒雄 (TEL) 072 (949) 5381
 四半期報告書提出予定日 平成 25 年 2 月 12 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 3 月期第 3 四半期	21,310	2.1	1,195	△26.2	1,458	△3.9	1,068	17.8
24 年 3 月期第 3 四半期	20,870	—	1,620	—	1,518	—	906	—

(注) 包括利益 25 年 3 月期第 3 四半期 1,266 百万円 (167.0%) 24 年 3 月期第 3 四半期 474 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 3 月期第 3 四半期	67.73	—
24 年 3 月期第 3 四半期	68.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 3 月期第 3 四半期	24,695	9,216	36.8
24 年 3 月期	23,371	8,108	34.4

(参考) 自己資本 25 年 3 月期第 3 四半期 9,076 百万円 24 年 3 月期 8,033 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 3 月期	—	2.00	—	8.00	10.00
25 年 3 月期	—	6.00	—	—	—
25 年 3 月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 平成 25 年 3 月期期末配当金の内訳 普通配当 6 円 00 銭 記念配当 2 円 00 銭

詳細は、本日(平成 25 年 2 月 8 日)公表いたしました「平成 25 年 3 月期 期末配当予想の修正(東証一部指定記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成 25 年 3 月期の連結業績予想 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	28,900	4.1	2,070	2.7	2,100	4.9	1,370	△0.4	86.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（北京新田膠原腸衣有限公司）、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	15,770,074株	24年3月期	15,770,074株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	162株	24年3月期	162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	15,769,912株	24年3月期3Q	12,814,808株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における海外経済は、全体として弱い回復で推移しました。米国では緩やかな景気回復が続きましたが、欧州の債務・金融危機や中国・インド景気拡大の減速、東南アジアの景気の足踏み状態が続きました。一方、日本経済は、震災復興需要を背景に緩やかな回復の兆しもありました。しかしながら、世界経済の減速、長引く円高による輸出の低迷、及び国家間の摩擦の経済活動への影響が懸念され、デフレが進行しました。

政権交代によるデフレ脱却政策への期待から、急激な円安、日経平均株価の上昇など先行きに期待できる部分もありますが、先行きの不透明感は払しょくできない状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは、① お客様第一主義 ② グローバル&イノベーション ③ 選択と集中を、経営の基本方針として、新製品開発や新市場開拓に積極的に取り組み、お客様にご満足いただける製品・サービス提供のため、厳しい環境の克服に注力してまいりました。

海外市場では旺盛な需要を受け販売が好調に推移しました。一方、日本市場ではデフレ不況の影響を受け販売が低迷いたしました。

その結果、売上高は21,310百万円（前年同期比2.1%増）となりました。営業利益は、原料価格の上昇に加え、日本でのエネルギーコストの上昇と円安により1,195百万円（前年同期比26.2%減）となりました。経常利益は、持分法による投資利益の増加、及び為替差益発生により1,458百万円（前年同期比3.9%減）となりました。四半期純利益は、税金負担の軽減により1,068百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① コラーゲン素材事業

ゼラチンは、日本市場ではカプセル用が堅調に推移しましたが、写真用は大幅に減少いたしました。また、前年同期の震災による一時的な需要の沈静化、及び食品メーカー向け販売単価が低下し、食用の売上が減少いたしました。一方、海外市場では、食用、カプセル用の需要が旺盛であり、価格改定効果もあり売上が増加いたしました。

コラーゲンペプチドは、日本市場では販売価格の低下、健康食品市場における他素材との競争、また、中国市場の開拓遅れにより、売上が減少いたしました。

コラーゲンケーシングは、米国でスナックソーセージ用が堅調に推移すると共に、中国向け輸出が好調に推移し、売上が増加いたしました。

その結果、当該事業の売上高は13,587百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1,315百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

② フォーミュラソリューション事業

食品材料は、コンビニデザート、ハム・ソーセージ用品質改良剤が好調に推移いたしましたが、競争激化により総菜用が低迷し、売上は伸び悩みました。

接着剤は、震災復興需要に支えられた建材用ホットメルト形接着剤と、新開発製品である高機能樹脂が好調に推移いたしました。しかしながら、一部製品の事業譲渡による減少、出版業の低迷による製本用の減少をカバーできず、売上が減少いたしました。

その結果、当該事業の売上高は7,722百万円（前年同期比1.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は、接着剤の原材料価格上昇が一段落したことが寄与し897百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,323百万円増加し、24,695百万円となりました。

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末比378百万円増加の15,314百万円となりました。主な要因は、たな卸資産が503百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末比945百万円増加の9,381百万円となりました。主な要因は、設備投資に伴い有形固定資産が611百万円増加し、時価評価増加等により投資有価証券が292百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末比286百万円増加の9,462百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が273百万円、1年内返済予定の長期借入金が362百万円増加した一方で、未払法人税等が323百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末比71百万円減少の6,016百万円となりました。主な要因は、長期借入金が296百万円増加した一方で、社債が200百万円、退職給付引当金が120百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末比1,108百万円増加の9,216百万円となりました。主な要因は、前連結会計年度末に比ベ円安が進み、為替換算調整勘定が229百万円増加したことと、利益剰余金が847百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は36.8%（前連結会計年度末34.4%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想は、平成24年5月11日に公表しました「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

中国でのコラーゲンケーシングの販売拡大を図ることを目的として、平成24年9月に北京の羊腸加工会社である北京秋実農業発展有限公司との間に合弁会社である北京新田膠原腸衣有限公司を設立し、同社を第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,098,305	1,993,467
受取手形及び売掛金	6,449,185	6,291,036
商品及び製品	4,011,191	4,242,612
仕掛品	651,952	786,661
原材料及び貯蔵品	1,308,008	1,445,284
その他	431,247	573,090
貸倒引当金	△14,013	△18,089
流動資産合計	14,935,878	15,314,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,519,511	2,677,403
機械装置及び運搬具(純額)	1,160,053	1,118,457
その他(純額)	1,707,611	2,202,444
有形固定資産合計	5,387,176	5,998,305
無形固定資産		
その他	18,491	43,841
無形固定資産合計	18,491	43,841
投資その他の資産		
投資有価証券	2,055,225	2,347,503
その他	976,926	993,253
貸倒引当金	△1,814	△1,753
投資その他の資産合計	3,030,338	3,339,003
固定資産合計	8,436,005	9,381,150
資産合計	23,371,884	24,695,212

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,476,611	3,750,307
短期借入金	925,340	996,585
1年内返済予定の長期借入金	1,878,380	2,241,301
1年内償還予定の社債	330,000	200,000
未払法人税等	387,141	63,883
賞与引当金	235,319	111,246
その他	1,943,430	2,099,224
流動負債合計	9,176,223	9,462,547
固定負債		
社債	200,000	—
長期借入金	3,261,365	3,557,802
退職給付引当金	2,158,327	2,037,414
役員退職慰労引当金	33,772	35,009
その他	434,018	385,997
固定負債合計	6,087,483	6,016,223
負債合計	15,263,707	15,478,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,577,121	1,577,121
資本剰余金	1,398,633	1,398,633
利益剰余金	6,889,910	7,737,254
自己株式	△68	△68
株主資本合計	9,865,597	10,712,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	416,438	395,264
繰延ヘッジ損益	6,173	27,235
為替換算調整勘定	△1,350,928	△1,121,867
在外子会社の年金債務調整額	△903,985	△937,410
その他の包括利益累計額合計	△1,832,302	△1,636,777
少数株主持分	74,881	140,278
純資産合計	8,108,176	9,216,441
負債純資産合計	23,371,884	24,695,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	20,870,294	21,310,129
売上原価	15,607,080	16,361,577
売上総利益	5,263,213	4,948,551
販売費及び一般管理費	3,642,705	3,752,619
営業利益	1,620,507	1,195,931
営業外収益		
受取利息	566	673
受取配当金	16,950	18,856
為替差益	—	63,868
持分法による投資利益	74,240	238,158
その他	52,084	75,944
営業外収益合計	143,841	397,500
営業外費用		
支払利息	132,285	112,977
為替差損	50,025	—
株式公開費用	44,726	—
その他	18,881	21,870
営業外費用合計	245,919	134,847
経常利益	1,518,430	1,458,584
特別利益		
固定資産売却益	268	15,701
特別利益合計	268	15,701
特別損失		
固定資産除却損	20,000	9,165
投資有価証券評価損	10,246	15,177
ゴルフ会員権評価損	4,500	—
特別損失合計	34,746	24,343
税金等調整前四半期純利益	1,483,951	1,449,942
法人税等	570,323	378,162
少数株主損益調整前四半期純利益	913,628	1,071,780
少数株主利益	7,109	3,657
四半期純利益	906,518	1,068,122

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	913,628	1,071,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,401	△21,229
繰延ヘッジ損益	△9,761	16,103
為替換算調整勘定	△277,495	231,218
在外子会社の年金債務調整額	78,369	△33,425
持分法適用会社に対する持分相当額	△205,934	2,016
その他の包括利益合計	△439,223	194,683
四半期包括利益	474,404	1,266,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	467,269	1,263,647
少数株主に係る四半期包括利益	7,135	2,816

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コラーゲン素材 事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	13,019,611	7,850,682	20,870,294	—	20,870,294
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,032,630	—	1,032,630	(1,032,630)	—
計	14,052,242	7,850,682	21,902,924	(1,032,630)	20,870,294
セグメント利益	1,811,581	816,012	2,627,593	(1,007,086)	1,620,507

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,007,086千円には、セグメント間取引消去4,545千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,011,632千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コラーゲン素材 事業	フォーミュラ ソリューション 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	13,587,569	7,722,559	21,310,129	—	21,310,129
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,002,929	—	1,002,929	(1,002,929)	—
計	14,590,498	7,722,559	22,313,058	(1,002,929)	21,310,129
セグメント利益	1,315,199	897,393	2,212,592	(1,016,660)	1,195,931

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,016,660千円には、セグメント間取引消去2,281千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,018,941千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。